



▲医師、看護師、歯科医師、薬剤師、鍼灸師、接骨師などによる相談会や体験会、家族で楽しむ子どもチャレンジコーナーなどに1,000人を超える方が参加した『第28回所沢市健康まつり』。介護予防運動体験会では、自宅でできる介護予防運動を学びました。

11月8日(日)／保健センター
(写真：市民カメラマン・白須信一)



今回の市民レポーター！

今回のレポーターは沖政いずみさん(左)と高橋麻里子さん(右)。藤本市長が秋山選手のシーズン216安打のプロ野球新記録のお祝いで西武プリンスドームに訪れた際に同席しました。



今回の突撃先！

秋山翔吾外野手(背番号55/右投げ・左打ち)
平成22年ドラフト3位で入団。今シーズンはプロ野球新記録であるシーズン216安打を放つなど大活躍。11月に開催されたWBS C世界野球プレミア12の日本代表にも選出。

インタビュー「秋山選手ってどんな人？」

藤本市長からのお祝い後、いよいよ対談。話の中心はやはり記録のことです。残り2試合で記録更新まで6安打。達成はできないと思っていたので、記録より試合に勝つことを一番に考えていたそうです。安打が続いたときには、試合前日と同じものを食べて験を担いでいたとか。1年間けがなく安打を量産できた要因には、オフの日の練習を控えて、身体を休めたことと、バットを握る位置を変え、流し打ちを意識したことを挙げられました。

子どもたちへのメッセージを伺うと、「我慢と継続することを忘れないで欲しい。プロの舞台に立つには、人と同じ練習ではなく、とにかく数をこなして毎日継続することが大事」と語ってくれました。

最後に市民の方へ「寮にいたころは所沢で買い物をしていて、今、行きづらく感じるの自分が成長しているということ。本当に育ててもらった街だと感じているので、街で会ったら気軽に声をかけてください。個人としてはこれ以上の記録はないと思うので、チームで最高の結果を出したいです」と話した秋山選手。来シーズンは優勝してほしいですね！



レポートを終えて

質問に真摯に答えていただき、ますます秋山選手を応援したくなりました。また、このような場に同席することができて、忘れられない貴重な思い出になりました！来季もご活躍を期待しています。

商業観光課 ☎ 2998-9155

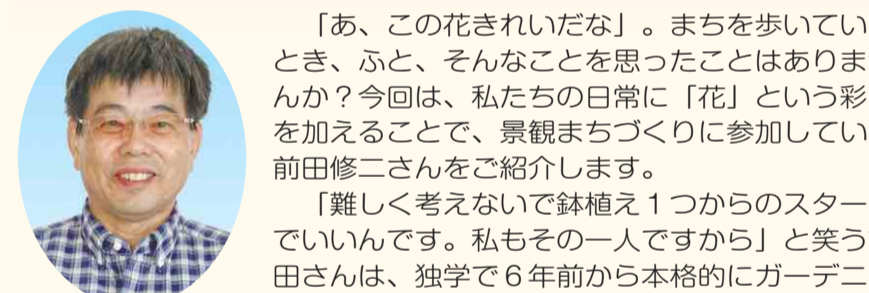
みんなのひろば



▲子どもの無事な発育を喜び、今後のいっそうの成長を願う七五三。トコロんが5歳になったことをお祝いして開催された『祝トコロん5歳七五三撮影会』。前日から降っていた雨もやみ、トコロんと一緒に写真に納まった晴れ着姿の子どもの顔は晴れやかでした。

11月15日(日)／所澤神社(宮本町)
(写真：市民カメラマン・遠井洋子)

はっぴとところ 野老っ子



「あ、この花きれいだな」。まちを歩いているとき、ふと、そんなことを思ったことはありませんか？今回は、私たちの日常に「花」という彩りを加えることで、景観まちづくりに参加している前田修二さんをご紹介します。

「難しく考えないで鉢植え1つからのスタートでいいんです。私もその一人ですから」と笑う前田さんは、独学で6年前から本格的にガーデニングをスタート。その魅力について「通りすがりの人が『きれいなお花ですね』と声を掛けてくれるのがうれしい。そこから新しい輪が広がりました」と語ります。

そんなトコガーデナーが今年5月、西武プリンスドームで開催され

再スタートの記念日
宮本町 大島 良英
所沢市に移り住んで早20年近くになります。小学校に上がって間もない2人の子どものために毎年のように手作りケーキや料理でクリスマスをお祝いしてきましたが、今ではそれぞれ自立し、妻と私2人だけになってしまいました。それでも12月25日は、再スタートの記念日として、ささやかに祝いしたいと思っています。

エッセイへの投稿はメールが便利！
「誰でもエッセイへの投稿はQRコードを読み取るだけで簡単に投稿できます。文章300文字と住所、氏名を記載し送信してください。」
次のテーマは「かたる」。お正月に家族で遊んだ思い出など、たくさんのお話をお待ちしています。

スマホで動画！



▲市内で活動している4組のアーティストが出演した『まちなかコンサートVol.10inガレリア』。大トリは色気と強さを持った「木製の椅子」のロックが会場に響き渡りました。

11月7日(出)／新所沢パルコ1階ガレリア
(写真：市民カメラマン・平出敏夫)

「花づくりはまちづくり」所沢を花で彩ろう

トコガーデナー会長 前田 修二さん(下富在住)

た「国際バラとガーデニングショウ」にミニガーデンを出展しました。6日間で約25万人が来場するガーデニングショウへの出展は苦勞の連続だったと振り返ります。「初めての出展で資金はほぼゼロ。お金をかけずに来場者に喜んでもらえる作品を作るにはどうしたらいいのか、メンバーで知恵を絞りました。買えば済むものを手作りして持ち寄り、メンバーが互いの得意な分野で力を合わせ、一つのものを作り上げました。大変でしたが挑戦して良かったです」という作品は、見事、フロントガーデン部門入賞。12月10日(日)から行われる「景観まちづくり展示会(6頁参照)」では、入賞作品をクリスマスバージョンにアレンジして展示します。

「花づくり(ガーデニング)はまちづくり」。日々の生活の中で触れ合う花たちは、人の心を癒やし、人のつながりの輪を作り、美しく温かいまちを作ります。「花を通して、まちづくりができるガーデニング。多くの人に参加してもらい、所沢を花で彩りたいです。私たちと一緒に花のある生活を始めませんか？」



▲展示会で予定しているミニガーデン

誰のクリスマスもサンタさんのプレゼント
昔のことであるが、子どもたちへのクリスマスプレゼントには苦い心さんだった。なにげなく欲しいかを聞き、プレゼントが決まると買いに行くのは夫の役目。会社の帰りにそのついでにきて、置き場所は車の中や押入れの奥など子どもたちに見つからないようにと苦労した。さらに努力が必要なのはプレゼントをあげる瞬間。子どもたちがすっかり寝付くまで枕元には近寄れない。寝付いたのを見計らってそっと置くからである。長男が小学生になったある年。クリスマスも近くなった日、長男からハッキリ言われたのだ。「これからはプレゼントは手渡しにしてくれないか。待っているって眠れないから」。親のささやかな夢が終わった瞬間だった。



▲フェイスブックなどを通して知り合った有志が、小手指地区の活性化と子どもたちに楽しんでもらおうと企画した『第3回こてさしハロウィーン』。仮装して集まった参加者は、小手指駅北口ロータリー、八ナミズキ通りをパレードし、メイン会場であるルポパルク緑地で、仮装コンテストやトコロん撮影会などを楽しみました。

10月31日(出)／ルポパルク緑地(小手指駅北口)
(写真：市民カメラマン・津田資雄)

地域の絆 やっぱり自治会・町内会でしょ！19
ご近所同士で力を合わせ、さまざまな課題解決や地域の絆づくりを行っている自治会・町内会をご紹介します。

けやき台町会

新所沢地区のけやき台町会は、所沢市のほぼ中央部に位置します。ひとまわり歩いて45分というこの自治会の区域には、小・中学校や教育センター、消防署のほか、数年前までは保健所もあり、多くの公共施設が集まる場所でもあります。駅に程近く、多くの方が住むこの地域も「町会が発足したころは、畑が広がるのどかな場所でした」と、増田 清会長は語ります。

けやき台町会の会員数は、589世帯で発足してから35周年を迎え、現在は1,600世帯に達しました。当初は「東上新井町会」という町会名でしたが、住民の公募により、町名が「けやき台」となり、それに合わせて町会名も「けやき台町会」になったそうです。

町会最大のイベントは、毎年夏に行われる「納涼盆踊り大会」。上新井東公園に大勢の人が集まり、夏の夜を賑やかに楽しめます。けやき台町会には、民謡踊りサークル「なの花会」や「子供太鼓連」があり、盆踊り大会などで活躍しています。特に、子どもだけの太鼓連は市内でも珍しく、高齢者施設や地区の運動会などでも人気を博しています。

いずれも町会発足当初の役員が中心となり育ててきた、地域の絆と文化をつなぐ活動です。近年は成長した子供太鼓連のOBが指導や運営にあたるなど、次世代に引き継がれつつあると、会長は頼もしそうに目を細めます。

「このまちで生まれ、育つこれからの世代の人たちの良きふるさどをつくっていきたい」と、これからのけやき台町会の姿を描く増田会長。いつまでも安全で安心して暮らせる明るい地域にと町内の防犯灯のLED化を積極的に進めています。

年明けの2月には、恒例の「親睦餅つき大会」が開催されます。寒さの厳しい季節に、つきたてのお餅と温かい豚汁で、身体も心も親交も温まる、けやき台町会は冬も元気に活動します。

◀次回は新所沢東地区の北所沢町内会を紹介します。▶
地域づくり推進課 ☎ 2998-9083